

# 内水ハザードマップを改訂しました



## ✓水防法の改正に基づいた内水ハザードマップを作成しました

近年多発する集中豪雨や線状降水帯の発生など、これまで以上の水害リスクに対応すべく、想定最大規模降雨を前提としたシミュレーション結果へ見直しを行いました。《令和5年10月2日告示》

## 今回の変更ポイント

### ポイント1 増大する浸水リスクへの対応（想定最大規模降雨による見直し）

想定される降雨量をこれまでの市内における既往最大降雨（1時間あたり72.5mm）から、国交省の基準による1時間あたり153mmの降雨量に見直しました。

#### 佐原豪雨（1999年10月27日）

千葉県香取市（当時は佐原市）で19時～20時の1時間に153ミリの降雨があり、関東地区では最大規模の1時間降水量となっています。

### ポイント2 浸水箇所の表示方法の見直しとシミュレーションエリアの拡大

浸水想定区域の表示をこれまでの50mメッシュから25m以下の矩形とするとともに、浸水シミュレーションの範囲を市内全域に拡大しました。

### ポイント3 不動産取引時の重要事項説明となります

新しい内水ハザードマップは水防法に適用することから、不動産取引時の重要事項説明となります。この効果として、不動産取引時に水害リスクの認識が図られ、建築時の水害対策や注意喚起など、内水浸水に対する自助・共助の取組みを促します。



1時間当たりの50mm以上の降雨回数は40年で1.5倍に！！

### 雨の強さと降り方



## ✓新しい内水ハザードマップの確認方法

新しい内水ハザードマップはさまざまな方法でご確認いただくことができます。

### 確認方法

#### ○小江戸川越マップから住所検索が可能です。

ご自宅のパソコン、スマートフォンをご利用いただくことで、任意の住所地について浸水想定区域であるかを確認することができます。



小江戸川越マップ

#### ○市のホームページからマップをダウンロードできます。

水害ハザードマップのページでは、洪水ハザードマップとともに内水ハザードマップを公開しています。公開している図面は市内を10分割しており、お住まいの地区の浸水想定区域を確認することができます。印刷やダウンロードしていただき、お手持ちの水害ハザードマップ冊子と併せてご活用ください。



#### ○市の関係窓口で内水ハザードマップの閲覧が可能です。

以下の窓口では印刷した内水ハザードマップを閲覧することができます。（ご覧いただける図面は市のホームページでダウンロードしたものと同様です。）



**対応窓口：**事業計画課（上下水道局庁舎2階）、防災危機管理室（本庁舎4階）、河川課（小仙波庁舎2階）、芳野市民センター、古谷市民センター、南古谷市民センター、高階市民センター、福原市民センター、大東市民センター、霞ヶ関市民センター、川鶴市民センター、霞ヶ関北市民センター、名細市民センター、山田市民センター

お問合せ先

川越市上下水道局 事業計画課 下水道計画担当

049-223-0332